

1月 給食だより

令和6年1月10日
江戸川区立鹿骨中学校
校長 大谷 雅也
栄養士 井上 めぐみ

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、早いもので3学期がスタートしました。例年より暖かい冬ですが、1月となりこれから冬本番となるため、寒くなってきます。引き続き換気や手洗い・うがいをしっかりと行い、バランスの良い食事を心がけて、風邪などの感染症予防に努めましょう。

謹賀新年



冬の野菜は甘い!?



冬が旬の野菜は、寒さで凍らないよう、細胞に「糖」を蓄えるため甘く感じます。また、雪が多く降る地域では「越冬野菜」という、秋に収穫する野菜をそのまま埋めて雪の中で保存する方法があります。寒さで野菜の甘味やうま味が増して、よりおいしくなるそうです。冬ならではの野菜の甘味をぜひ味わってみてください。

1月の給食目標

学校給食の大切さを知ろう

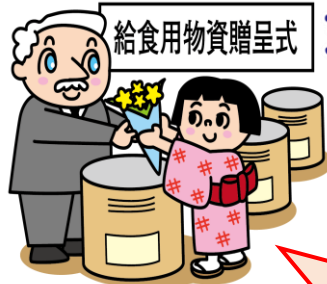


今年の干支の「辰」にちなんで、1人1人が「たつ(達)人」を目指してみよう!

1月24日～30日は
全国学校給食週間です

学校給食について知ろう!

日本の学校給食は明治22年頃に、山形県の大督寺というお寺の中にあった小学校で、お弁当を持ってこられない子どもたちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による食料不足などの影響によって中断されてしまいました。



支援物資による学校給食の再開

戦争が終わっても食料不足は続き、子ども達の栄養状態の悪化が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高まりました。アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から贈られた物資を使い、昭和22年1月に給食が再開しました。

学校給食は教育活動に

昭和29年に「学校給食法」が成立し、学校給食は教育活動として実施されるようになりました。その後も時代の流れと共に「学校給食」は変化し続けています。ですが、いつの時代も、子ども達を大切に思う気持ちが詰まっているのは変わりません。そんな思いを感じて、おいしくいただきます。

★昭和21年12月24日に物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としました。しかし、冬休みと重なるため昭和25年度からは1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



昨年大変好評だった「豆つかみ大会」を、今年も給食委員の主催で行います。
○日時 1月29日(月)・30日(火)の昼休み中
○場所 視聴覚室
※詳しくは給食委員だよりにてお知らせします。
参加条件などはなく、誰でも参加可能ですので、ぜひ、みなさんも参加してみてください!

